

## 野鳥にふれる朝②

8月11日・山の日朝、「アオジ」という野鳥が玄関の前でお亡くなりになっているのを発見し、標本にして保存することにしました。前回のコラムでは羽の標本についてお話ししましたが、現在は骨の標本を作成中です。

まずは肉をきれいに除去していくのですが、そのためには①土に埋めるなどして虫に食べてもらう、②薬品で溶かす、③煮込んで取りやすくする、等の方法があります。特に①は簡単・お手軽で、手作業だと取りきれない細かな部分まで食べてもらえてよいそうなのですが、時間がかかりそうですし、私は虫が苦手なので今回は③の煮込む方法をとることにしました。

標本にする前に、アオジの身体測定をしてみます。鳥の図鑑では、鳥の体をまっすぐに伸ばしたときのクチバシの先から尾羽の先までの長さが「全長」とされており、これは約140mmありました。また、鳥の羽を横いっぱい広げた時の最大幅が「翼開長（よくかいちょう）」とされており、これは約200mm。重さはおおよそ29g、これは森永製菓の「チョコボール」1箱分(内容量約25g)と大体同じくらい、と想像していただけると分かりやすいかと思えます。

ということで、いよいよ肉を除去する作業に入ります。お鍋にたっぷり湯を沸かし、1時間ほど煮



Nature Column (ネーチャーコラム)  
自然ガイドなどで活躍する人たちをリレーしています。

込むと皮がずりとりむけるようになります。魚の煮物を食べる時の要領で、肉もていねいに外していきます。



故障した圧力鍋で煮込んでいます。

このとき、腕や脚の関節部分の軟骨は残しておきます。脊椎（背骨とよばれる部分）はとて小さくばらけやすいので、針金を通せば同時に中の神経も取り出せるので、（1羽とはいえ）一石二鳥です。頭骨の中などは手で取りきれないので、かぎ状に曲げた針金を使って掻き出します。

その後、市販の入れ歯洗浄剤を溶かした液体でふたたび煮込みます。これはたんぱく質を除去する作用があり、骨へのダメージが少なく漂白もできるのでおすすめです。水に浸して薬品を抜きつつ、針金で細かい肉をコツコツ地道に除去してから乾燥させます。さて、ようやく骨だけの状態になりました。これから、工作用のグルーガンを使って組み立て作業に入るところです。完成したら、ビクターセンターで展示しようと思っています。そのときはセンターのHPやFacebookで皆さんにお知らせいたしますので、アオジに会いに、ぜひいらして下さい。

旭岳ビクターセンター 高橋可翔



## テリー・フォックス

東川町国際交流員 (CIR)

ゾエ・アスコリ

テリー・フォックスという人物をご存知ですか？カナダの人々に感動を与え、今でも語り継がれる伝説を残した人物です。今回は、その義足の英雄、テリー・フォックスを紹介します。

1958年7月28日生まれのテリーは、子どもの頃から努力家で忍耐力がありました。母のベティは「テリーは幼児の時から全ての積木を積み上げきるまで、何度も挑戦する子どもだった」と語っています。

テリーは中学生になると、バスケットボールに興味を持ち始めました。しかし、コーチはテリーにバスケットボールの才能があまりないと気づき、陸上部に入部することを勧めました。テリーはその先生を尊敬していたので、陸上部に入りましたが、バスケットボールは諦めませんでした。

テリーは努力を続け、大学のバスケットボール部に入ることができました。しかし18歳の時、足の骨がガンになり、右足を切断しました。当時ガンの治癒率は50%でした。2年前はその確率が15%だったと聞いて、テリーはガン研究の重要性を再確認しました。

テリーは義足をつけ、ガン研究のため

の募金活動として「希望のマラソン」を企画しました。カナダの端から端まで8千キロを走り、2100万ドルを集める計画でした。

1980年に、カナダの東海岸から西海岸を目指し、走り始めました。毎日42キロも走りました。しかし、143日後、5373キロ地点で、テリーは走り続けられなくなりました。ガンが肺に転移したからです。

テリーはその後、「Even if I don't finish, we need others to continue. It's got to keep going without me.」(もし僕がゴールできなくても他の人が続ける必要がある。僕なしでも進まなければならぬ)という言葉を残し、1981年6月28日に亡くなりました。亡くなった時点の集めた募金総額は、当初目標としていた2100万ドルに届いていました。

テリーの物語は、カナダだけではなく世界中の人々の心に響きました。本人が亡くなってからも、ガン研究資金を募るチャリティイベント「Terry Fox Run」などでお金を集め続けています(今年10月13日に札幌でも開催されます)。2018年1月現在では、テリーが走り始めてから総額約7億5千万ドルを集めたそうです。

私たちも、テリーのように頑張れたら、どんなに素敵なお仕事でしょうか。自分それぞれのゴールに向けて力一杯進みましょう。